

さくぎ町民だより



発行 （一社）作木町自治連合会

三次市作木町下作木905-2 文化センターさくぎ

TEL 0824-55-2115 FAX 0824-55-7010

メールアドレス bs.sakugi@pl.pionet.ne.jp



ホームページQR

5月号

**町民の皆さんがこれからも
作木町に住み続けるために**

一般社団法人作木町自治連合会は、令和元年5月の設立後、3年目を迎えました。

法人として体制を整備することで、今まで以上に活動の幅が広がり、独自の事業が可能になること、また、将来にわたって地域づくりに責任を持ち続けていく決意をもつことを目的として法人となりました。これからもさらに地域づくりを進める団体として行政と連携し、努力をまいります。

れています。

作木町においても移住定住は大きな活動と受け止めています。自治連は「町民の皆さんに、これからも作木に住み続けてもらう活動」と、「町外から移住してきてもらう活動」、この2つの活動を大切に行っていきます。

令和3年度から、向こう5年間、第3次まちづくりビジョンにおいて、住民のコミュニケーションや生活交通、防災、子育て、健康、環境等9項目16事業に取り組みます。ビジョンの冊子をご一読いただきこれからの作木の取り組みについてご理解をお願いします。

**作木郷土資料館
紹介動画を配信中！**

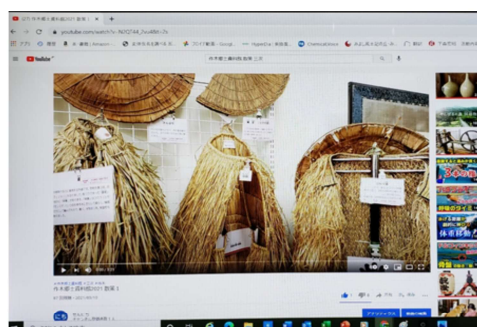
作木町大津に開設しています作木郷土資料館の展示内容を、自宅でも手軽に見ていただけるよう、動画を作成しました。インターネットにつながるパソコンや携帯電話などで視聴できます。紹介動画は『作木郷土資料館2021 散策1』から始まり『同 散策13』まで、全13作の連載物です。動画はそれぞれ3分前後で、1話ずつ見ていただけます。インターネットで、「#作木郷土資料館」を検索していただくと、「YouTube」あるいは作木町自治連合会が運営している「フェイスブック」や「Instagram」で配信している動画につながります。

作木郷土資料館では、明治から昭和時代の民具・用具類など約520点を展示しています。懐かしくそして新たな発見のひとつときは、郷土学習の一助にもなると思います。どうぞご家族でご覧ください。



第3次まちづくりビジョン

3月の常会文書で各家庭に配付しています。



動画が表示されたパソコン画面



作木郷土資料館のリーフレットより

桜杯カヌー大会

4月11日（日）江の川カヌー公園さくぎを会場に、川開き&桜杯カヌー大会inさくぎが盛大に開催されました。

今年は90名を超える参加者となり、好天に恵まれ、楽しくカヌー競技に取り組んでいました。



岡三洲景観づくり

4月18日（日）作木町岡三洲の殿敷で「景観づくり&桜を見る会」が開催されました。

この会は、岡三洲の景観づくりを進める会の主催で、町内外から約50名の参加がありました。

当日は雨やあられが降る寒い日でしたが、ブッポウソウの巣箱を設置した電柱を参加者で立てたり、キノコの植菌や山菜取りなどの体験が行われました。

お昼には地元の方が作るしし汁、手打ちそばや山菜の天ぷらなどがふるまわれ、暖かい食事に参加者は満足されていました。



滝開き神事

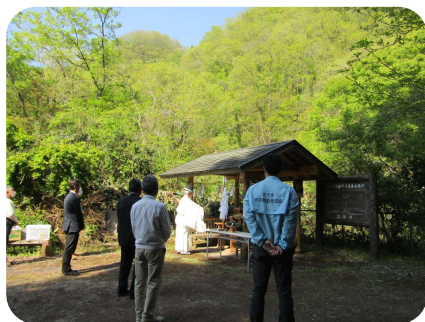
4月22日（木）常清滝の滝開き神事が行われました。

神事は作木町観光協会が毎年4月に常清滝の安全と多くの観光客の訪れを願って祈願をされます。

今年も作木町の観光地として常清滝に多くの来場がありますようお願いいたします。



きのこの植菌の様子

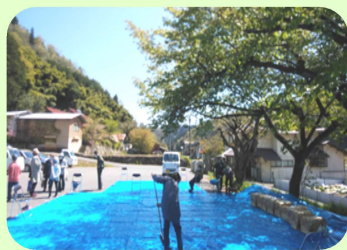


いかわし広場で花見

伊賀和志区

昨年からの新型コロナウイルス感染症のニュースばかりで未だかつてない不自由な生活を体験しています。各地域においてもイベントが開催不可などままならない状況で、まだまだ元通りの生活になる見通しは立っていません。そうした中で、伊賀和志区では3月恒例の区民大会を中止したところ、「区民の皆さんの元気な顔が見たい」との声が上がり「いかわし広場」にてそれぞれが感染防止の対策をして花見を行いました。

当日は葉桜を見ながら、桜の満開の花を見るが如く区民の明るい笑顔が何よりも美しく改めて健康が第一であることを感じたところで、引き続き過去に例を見ない事態となりこの時世において、心ひとつになつて乗り越えて行く伊賀和志区民の皆さんです。



（高川 豊）

田植えの季節になりました

門田区



4月に入り田んぼの畔の草刈り、荒起こしや代かきと田植えに向けて農作業が忙しくなりました。私が子供の頃には、苗代を作り種もみを蒔いて苗が20cmぐらいになった6月頃、女性の方が6・7人で手間替えでの田植えをしておられたことを思い出します。

田植えの様子もだんだんと変わり、今では兼業農家も増え機械化しています。早生のコシヒカリ・ひとめぼれを植える人が多くなり、多くの家庭で連休へ向けて田植えの準備（代かき）が始まっています。

今年は災害や猪の被害が起らないことを祈り、豊作になることを楽しみにしています。

（佐々木 隆弘）

自治連からのお知らせ

三江線メモリアルウエイト
予約販売をしています

さくぎ町民だよりに
情報をお知らせください



自治連では、さくぎ町民だよりが、作木町の身近な広報誌であるために、町民の皆様からさまざまな情報の提供をお願いしています。行事以外に、珍しい光景や、地域への思い等、どうぞ遠慮なくお知らせください。

TEL 55-2115

ブッポウソウ初飛来

4月27日に、ブッポウソウの飛来が確認されました。今年も元気な雛たちが産まれるのを楽しみにしています。



申し込み・お問い合わせ
（二社）作木町自治連合会

TEL 55-2115

FAX 55-7010

集落支援員から

空き家情報バンク！

新たに申請があり、5月に登録予定です。作木町で4件となります。



伊賀和志区

登録に際し、近隣の方から留意点を教えて頂きました。移住にあたっては近隣の方との融合が不可欠です。重要な情報ありがとうございます。町内には多くの空き家がありなんとか活用していきたいものです。（下作木上地区の1件が3月に譲渡されました）空き家活用の情報などありましたら、集落支援員、作木支所までお願いします。

石井久敏

コーヒーを飲みながらの楽しい音楽鑑賞

4月24日（土）文化センターさくぎ展示スペースで「懐かしのSPレコード鑑賞会」を開催されました。

この会は作木図書館主催、自治連合会共催で、22名の参加がありました。図書館司書の案内のもとで、蓄音機から流れる8曲を聞きながらの楽しい音色を楽しみました。また、当日はドリップコーヒーとケーキも喜ばれました。

時間が持てました」と感想がありました。文化センターさくぎでは、今後も気軽に集える機会を計画します。



参加者から「SPレコードの音色は、子どもの頃を思い出すなつかしさを感じます。静かに心の落ち着く

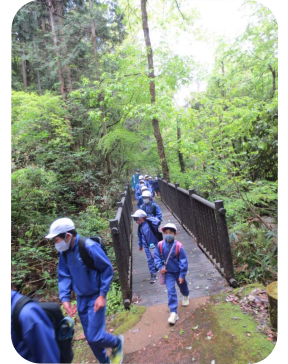


次回の町民だよりは
7月に発行します

楽しい遠足

4月に、さくぎ保育所、作木小・中学校で、遠足がありました。

保育所の園児は22日に文化センターさくぎへ歩いて行き、お弁当を食べて過ごしました。30日には小学生は常清滝へ、中学生は下地区自治交流センターめんがめまで歩いていきました。30日は雨が勢いよく降りましたが、やんだりする天候でしたが、児童、生徒は楽しく遠足を終えました。



たけのこ家族

たけのこがおいしい季節ですね。イノシシに取られないようにたくさんいただきます。4月の初めに、家の近くに先端だけが土からのぞいているたけのこがあり、掘ってみると4つのたけのこが重なるように生えていました。まるで、親・子・孫・ひ孫の4世代です。高さは60cmで巾は40cmありました。このようなたけのこは初めてです。とても珍しいので町民の皆さんへ紹介します。

橋本 幸夫（香淀）

作木消防から

「火災が多発しています!!」

空気が乾燥し、風も強く全国的に火災が発生しやすい気象状況が続いています。

備北消防館内において3月以降、枯れ草の焼却など、屋外で火を取り扱うことが原因の火災が多発しています。屋外で火を取り扱う際は、乾燥時や強風時を避け、消火用具を準備し完全に火が消えたことを確認してください。

お出掛け前とおやすみ前は火の元の確認をしましょう!

火災・救急の件数

令和3年4月の件数

火災1件・救急9件

◎火災と救急のときは119番

三次消防署作木出張所

TEL 55-3109



2021年全国交通安全スローガン

「スピードは

視野も心も狭くする」